



Walk with Children

めぐろ



せいび

183号
2022年10月

「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。

門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」 (マタイ7章7節)

校長 シスター 小島 理恵

爽やかな風がキンモクセイのほのかな香りを運んでくれる、気持ちの良い季節となりました。9月末には、2年生を除く全学年が秋の遠足に出かけることができました。校外での学習、そして、クラスや学年全員で出かけられるという体験は、子どもたちにとって大きな喜びの思い出となったようです。2年生はもうすぐ「秋の自然教室」(合宿)があります。今から楽しみにしているようです。

さて、10月はマリア様とともにロザリオを唱える月です。世界に目を向けますと、戦争や飢餓、そのほか様々な苦しみに遭い、数えきれない人々が命の危険にさらされています。マリア様はその方々のために祈るよう望んでおられます。子ども達の熱い祈りが捧げられることを願っています。

コンネッショナー
Conessione

～つながり～



ぶどう酒がなくなりました。(ヨハネによる福音書 2章3節)

ロザリオの集いに参加する子ども達が3階の聖堂に向かう姿を目にし、とてもうれしくなります。ロザリオの祈りは、マリア様と一緒にイエス様の生涯に思いを巡らしてお祈りすると同時に、お祈りの意向を持って祈る、お願いの祈りでもあります。

冒頭のみことばは、カナの婚礼において、マリア様がイエス様におっしゃった言葉です。イエス様はマリア様のこの申し出に対して水がめ6杯分の水をぶどう酒に変え、婚礼は皆に喜ばれる形で終わるという奇跡を起こします。この出来事は、マリア様がイエス様へ願いや祈りをとりなしてくださることをはっきりと示しています。

ロザリオを唱えながらマリア様をお願いするとき、マリア様は私たちと共にいてくださり、神様にとりなしをしてくださるのです。ご家庭でもロザリオの祈りを通して、私たちの祈りを必要としている方々のために、共にお祈りをしていきましょう。

9月の学校より～

ありがとうウィーク

9月8日の「感謝の日」は、マリア様の誕生日です。本校では9月27日全校で感謝の日の集いを行いました。また、9月15日から21日までのありがとうウィーク中は、「ありがとう」を伝えたい人にハートの形の紙を利用して感謝の気持ちをしたためました。「ありがとう」と言葉に出すことも大切ですが、同時に感謝の心が行動に表れ、温かい雰囲気、学校や家庭に広がっていくことを期待しています。



城星学園との交流会

9月21日

大阪にある城星学園小学校との交流会をオンラインで開催しました。児童会の子も達を中心にこの日のために準備を重ね、当日を迎えました。児童会の子も達に寄り添いながら一緒に準備をした教諭に、子ども達の様子を聞きました。企画、準備、運営に奮闘した子ども達の様子をお伝えします。

児童会担当

よりよい学校を目指して、自分たちにできることは何か。というテーマで話し合いをしたのは6月。オンラインを通して姉妹校である城星学園小学校と交流を図るとはできないだろうかという児童会の子も達から提案がありました。初めての試みではありましたが、子ども達と一つ約束をしました。“何があっても最後までやり遂げる”約束をした時の子ども達の目はキラキラと輝いていて表情からとてもやる気を感じることができました。

城星学園の児童会の児童とオンラインでの打ち合わせを行い、みんなが楽しめる出し物を企画したり、互いに意見を出し合ったりして子ども達の手で話し合いを進めていました。お互いの学校を知るための紹介動画作成では動画の流れや構成を考え、撮影まで自分たちで行いました。また、クイズ作成や司会の原稿作りなどそれぞれが自分の仕事を進めた約2か月の準備期間は朝早く登校して話し合ったり、休み時間を削って打ち合わせをしたり、成功させるために頑張る子ども達に大きな成長を感じました。



10月の学校より

ロザリオの集い

今年も子どもたちが大好きなロザリオの月が始まりました。ロザリオの玉を繰りながら、主の祈りやアヴェ・マリアの祈りを繰返し唱え、お祈りの意向に沿って「心の平和」「家庭の平和」「学校の平和」「世界の平和」を願います。

今年は毎朝1学年ごとに聖堂を利用してロザリオの祈りをみんなで唱える時間を設けます。自由参加ではありますが、自分のロザリオを持参して、たくさん子ども達が聖堂を訪れます。また、週に1度は朝礼の時間を利用して、全校児童が心を合わせて一緒にお祈りをします。その日は各教室からの参加となりますが、子ども達一人ひとりの祈りの声が各教室から響き渡ります。

